

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	カネヨシ商事 清水焼団地工場	階数	地上3F
建設地	京都市山科区川田清水焼団地町7番地2 他	構造	S造
用途地域	準工業地域, 準防火地域	平均居住人員	30 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年10月 予定	評価の実施日	2020年1月28日
敷地面積	2,356.28 m <sup>2</sup>	作成者	岡島篤
建築面積	912.01 m <sup>2</sup>	確認日	2020年1月28日
延床面積	2,080.31 m <sup>2</sup>	確認者	岡島篤



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>温暖化影響チャート

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	77%
③上記+②以外の	75%
④上記+	75%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** **Q のスコア = 2.3**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

音環境	2.6
温熱環境	2.6
光・視環境	1.5
空気質環境	3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

機能性	2.1
耐用性	2.8
対応性	2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.9

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	1.5

**LR 環境負荷低減性** **LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

建物外皮の	1.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源	2.2
非再生材料の	2.9
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

地球温暖化	3.9
地域環境	1.8
周辺環境	2.7

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
外観は、山ろく型建築物修景地区における町並みに配慮	
<b>Q1 室内環境</b> 特定建材は全てF☆☆☆☆を使用 ホルムアルデヒド以外のVOCについても放散量が少ない 建材を全面的に採用	<b>Q2 サービス性能</b>
<b>LR1 エネルギー</b> 太陽光発電パネルの設置	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 地域産木材の使用
	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
	<b>LR3 敷地外環境</b>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される